

暑熱・ハエ対策について

気温が上昇し、ハエが多く発生する季節となりました。暑熱によるストレスの増加、食欲不振、熱射病などの体調変化に注意しましょう。

また、暑さが続く10月までハエ等の吸血昆虫が活発になるため、昆虫対策を実施しましょう

暑熱対策のポイント

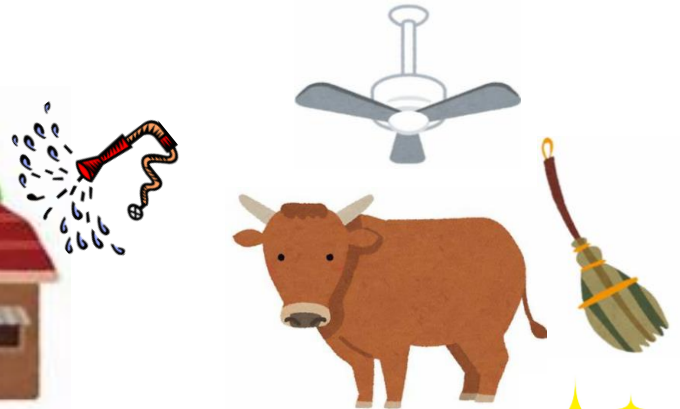
外部からの熱の侵入防止

- ・外壁へ断熱材の利用
- ・屋根に散水
- ・よしず等による遮光



定期的な空調機器の清掃

- ・空調フィルターの定期的な交換
- ・送風機の清掃
- ・畜舎周囲ネットの清掃
- ・給水器タイマーの維持管理



熱放散の促進

- ・換気扇、扇風機、ダクト送風機の活用
- ・ミストによる気化熱効果
- ・飼育密度を下げる

飼料給与と給水

- ・飼料のカビの点検
- ・涼しい時間帯での給餌
- ・ビタミン、ミネラルの給与
- ・新鮮で冷たい水の十分な給与

暑い日に作業をする場合は十分な水分と休息をとり、熱中症に注意して行ってください！

ハエ対策のポイント

成虫



さなぎ



幼虫

卵



〈成虫対策〉

- ・ 防虫ネット：目が2mm以下
- ・ 薬剤散布：ハエの休息場所となる壁や柱等に定期的に散布
- ・ 牛舎周辺の草刈り・清掃：休息場所を減らす
- ・ 駆除効果のあるイヤータッグの使用
- ・ 粘着シート：地上から高さ1m前後、家畜近辺に設置すると効果的

〈卵～幼虫対策〉

- ・ 産卵場所の糞尿や飼料残渣の清掃と堆肥化：堆肥の発酵熱(50℃以上)により幼虫の致死率上昇
- ・ IGR製剤（脱皮抑制剤）等を定期的に散布：幼虫の発生しやすい畜舎の壁際など牛に踏まれない・湿度の高い場所への散布

成虫よりも数が多い
卵～さなぎの対策により
根本から発生を防除

～薬剤使用について～

1. 目的にあった薬剤の使用(ウジか成虫か)
2. 用法・容量を守った適切な使用
3. 使用薬剤を複数用いる

(同じ薬剤の使用は薬剤抵抗性により効果が減弱するため)

家畜に異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします
飛騨家畜保健衛生所（飛騨総合庁舎内）

〒506-8688 高山市上岡本町7-468 E-mail: c24508@pref.gifu.lg.jp

TEL: 0577-33-1111 (内線403) FAX: 0577-32-9019

※閉庁時には「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」
の案内メッセージに従って対応をお願いします。